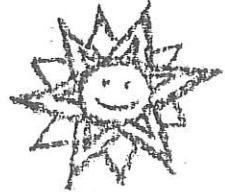


特別企画

7月26日(金)18:30~19:30 2階中講習室

コカリナ演奏 「青い空は」 「さとうきび畑」



「サリーガーデン」

品川コカリナアンサンブル有志

「コカリナ」はこどもたちの演奏によって長野オリンピックからソルトレイクへと国際親善の役目を果たしました。また、被爆樹から生まれ変わった「コカリナ」は、平和の音色を奏でます。誰でも、どこでもふけ、気軽に持ち歩ける木の楽器—「コカリナ」は、人と人の心をつないでくれます。

朗 読 「りゅうりえんれんの物語」 茨木のり子作

朗読集団「風」

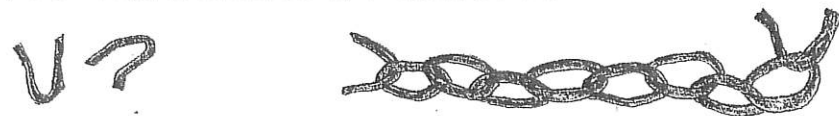
57年前、まさに働き盛りで、結婚までもない劉連仁は、他の労働者と共に縛られ強制連行されました。銃剣で脅かされ、青島から船に乗せられ、北海道の炭坑に連行されたのです。そこでの奴隷のような生活に耐えきれず一人山奥に逃げ込んで13年にもわたる洞窟生活を強いられました。

*強制連行された労働者の問題は、まだ、未解決です。劉連仁さんは亡くなりましたが、息子さんが遺志をついで国を相手に裁判で闘っています。

7月27日(土)14:00~15:30 2階中講習室

証言 対馬丸の護衛艦 元乗組員 駿河良栄さん

1944年(昭和19年)の夏、沖縄からの疎開船対馬丸が、米軍の攻撃で沈没し、学童を含む1500人が亡くなりました。このときの護衛艦の青年乗組員であった駿河良栄さんが初めて証言します。



しながわ 2002年 第19回

平和のための戦争展

ゆるすまい戦争への道



とき 7月24日(水)~27日(土)
10時~20時(最終日は18:00まで)
ところ 品川区中小企業センター
大井町線 下神明駅下車2分

主催 しながわ平和のための戦争展実行委員会

日本は朝鮮で何をしたか

日韓共催のワールドカップは、熱戦の中、終わりました。これを機にさまざまな共催による行事が行われましたが、果たして両国の友好は進んだと言えるのでしょうか。日本と韓国、そして朝鮮の真の友好のためには、朝鮮に対して行ってきた過去の植民地支配の事実を知らねばならないと思います。小泉首相の靖国神社公式参拝、つくる会の教科書問題等々真の友好を妨げる動きが目立っています。南北朝鮮は分断されたまま。そして、日本が国交を回復しているのは韓国とだけです。

歴史の事実をしっかり目を向けて、真の友好のために何をなすべきか考えていきたいと思います。

中国・アジアへの侵略

戦争中今、アジアの人々は次のように訴えています。



「日本の若い世代に、戦争の時に何が起きたのか、何があったのかきちんと教えてほしい・・・」と。日本政府は、戦争は終わったといっていますが、中国・アジアの人々にとってもそうなのでしょくか？本当の友好を築くために私たちは何をしたらよいか考えてみましょう。

高校生平和ゼミナール

2001年9月11日に起きたテロ事件とその後、報復戦争が引き起こされる中、私たち高校生は、この問題に大きな関心を持ちました。「テロはなぜ起きるのか」「アメリカの報復攻撃はやむを得ないのか」「日本は、そして私たち高校生はどうすべきか」など、話し合いをしてきました。そして、「テロは許せないが、武力攻撃は新たな犠牲を生むだけ」と一万人署名や、アピールウォークなどの宣伝活動を行ってきました。目標を超える署名が集まり、外務省にも要請し、行動することの大切さを学びました。

また、11月に行われた高校生平和の集いにおいて「テロ報復戦争」についての意識調査をおこないました。これらを報告したいと思います。

実物が語る戦争

昨年に引き続き、小山在住の若林栄二郎さんが、戦争当時の実物を提供してくださいました。百聞は一見に如かず。実物が訴える声を聞いてください。「しながわ平和のための戦争展実行委員会」で集めた実物資料も多数展示しています。

実物資料を提供して下さる方、御連絡ください。

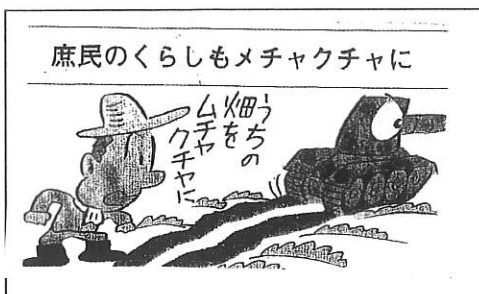
日本国憲法と有事法制

50数年前、日本の各地で命からがら逃げ延びたり、悲惨な耐乏生活を強いられた戦争体験者たちは言います。

Aさん「最近の様相が、あの時代にとっても似てきたように思う。戦争反対などとても言えなかったあの時代に」

Bさん「でも今はまだ、情報を知り、自分で考え、発信できる。その自由もあるわ。」
みんなで考えてみましょう。いつか来た道へ逆戻りさせないために・・・

- * どこまですすんだの？戦争準備。
- * 『有事法制』の正体は？
- * 日本国憲法があるのにということなの？



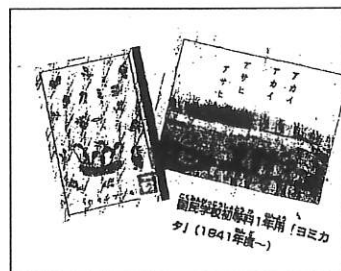
品川の空襲と小島義一さん



小島さんは、現在小平にお住まいになっていますが、戦争中、西中延（今の旗の台付近）に住んでいらっしやいました。昨年、品川の空襲で焼けた自宅跡から掘り出した硯を使って描いた12枚の絵を提供してくださいました。空襲で亡くなった多くの方々への哀悼の思いを込めて。今年は、空襲直後の中延付近の様子を新たに16点描いてくださいました。私たちが住んでいるところで起こった戦争の実態が、リアルに迫ってくると思います。

戦争と子ども

戦時体制下の子ども達は、どんな教育を受け、どんな暮らしをしていたのでしょうか。小学校が、国民学校と改称されたこの時期の教科書の中身は、どうだったのでしょうか。



戦時中の生活体験コーナー（奥の小部屋）

戦争中の家の中を再現しました。灯火管制、服、教科書、学習用品、遊び道具など当時の実物がおいてあります。どうぞ、中へ入って見てください。